

Keiko Ishikawa

Ariko Yara

Takara

ESTUDIO KEIKO PRESENTS
×FLAMENCO vol. 3

▲ triángulo ▼

東京公演

Juan Fernández

2016 9.15 (thu)

19:00open 19:30start

全席指定 5,000円

座・高円寺2
(杉並区立杉並芸術会館)

バイレ ファン・フェルナンデス, 屋良有子, 宝, 石川慶子
カンテ ディエゴ・ゴメス, 奥本めぐみ / ギター エミリオ・マジヤ
バイオリン 森川拓哉 / パーカッション 園田健介

後援

Asociación Nipona de Flamenco
anif 一般社団法人
日本フラメンコ協会

EMBAJADA
DE ESPAÑA
EN JAPÓN
cooperación
española

公益財団法人
スペイン舞踊振興MARUWA財団

Instituto
Cervantes セルバンテス文化センター東京

生と性、死、嫉妬、欲望、憎悪、人生の重さ軽さ・・・
"Triángulo"
三角形ほど孤高で美しく、切ない形はない

▲ triángulo ▼



Juan Fernández

10歳よりフラメンコを始める。ピラール・オルテガ、マノロ・マリン等著名な舞踏家に師事。2009年には第10回セビージャフラメンコ協会のコンクールで最優秀新人賞受賞。2011年、第11回ベルラ・デ・カディス・アレグリアスコンクールで優勝。現在は、ロス・ガジヨス、エル・コルドベスなどスペインの著名タブラオでの公演と並行し、ロンドン、ジュネーブなどでも公演を行っている。



Takara

5歳から福田真由美氏の元で踊りを始める。学生時代よりTokyozaDDにてエムザプロウ(ジェン・キョウヤ)氏の元で学ぶ。15歳からアメリカのIdyllwild Arts Academy舞踊科へ進学。卒業後もアメリカ、カナダ、スペインで踊りを学ぶ。帰国後、稲田進氏に師事。現在は舞台やLIVEに出演しながら講師活動と創作活動に励んでいる。ロサンゼルス スポットライトアワード2007ノンクラシカルダンス部門セミファイナリスト。第6回CAFフラメンココンクール奨励賞。日本フラメンコ協会第20回新人公演奨励賞。第7回、第8回CAFフラメンココンクール準優勝。



Keiko Ishikawa Ariko Yara

早稲田大学在学中にフラメンコに出会う。アデラ・カンパージョ、アリシア・マルケス、ベレン・マジャ等に師事。2012年日本フラメンコ協会第21回新人公演奨励賞、2013年公益財団法人豊田市文化振興財団文化新人賞を受賞。2014年日本フラメンコ協会第23回新人公演内「第1回カンデ・デ・ラス・ミナス日本予選」においてスペイン本選への出場資格を得る。2015年日本人初のセミファイナリストとして、「第55回カンデ・デ・ラス・ミナスコンクール」の舞台に立つ。

現在はESTUDIO KEIKOを主宰し、舞踊活動、教授活動で活躍中。愛知県豊田市出身・元高校教員。

早稲田大学在学中にフラメンコと出会う。アデラ・カンパージョ、ピラール・オルテガ、エル・トロンボ、松丸百合、森田志保に師事。スペイン留学を繰り返しながら、日本とスペインの舞台で研鑽を積む。東京を拠点に「響流」「REENCUENTRO」「有」他、ソロ・リサイタルを毎年開催。2010年から指導者として後進の育成にも積極的に取り組んでいる。ジャズやクラシック等、音楽性の高いステージやライブ・客演活動は年間数多く、豊かな感性と独自の世界観、卓越したコンパスに定評がある無二の舞踏家である。2006年日本フラメンコ協会主催 第15回新人公演奨励賞受賞 2007年マルワ財団主催 第4回CAFフラメンコ・コンクール第3位及び奨励賞W受賞 クリスティーナ・ヘレン財団フラメンコ芸術学校留学 2008年セビージャ・ビエナル併行プログラムにてソロ公演 2009年文化庁芸術家在外派遣員に任命留学 2010年屋良有子フラメンコ教室開講 2016年日本カンデ・デ・ラス・ミナス音楽祭優勝

舞台監督 吉兼正和 / 照明 則武鶴代 / 音響 (有)アートスペースプロジェクト 高崎優希 / 撮影 大森有起 / フライヤー作成 田中知子

座・高円寺2
(杉並区立杉並芸術会館)

杉並区高円寺北2-1-2
JR中央線「高円寺」駅
北口を出て徒歩5分

